

平成25年9月14日  
再徹底お願い  
(平成25年7月7日) 隅田

校長から指導者へのお願い事項

1. 指導者は、担当学年の生徒だけを見るのではなく、堺ラグビースクールの指導者として全ての生徒に気を配ってほしい。 特に躰や挨拶の面で出来ていない生徒には、担当学年を意識せず指導していただきたい。
2. 指導する際に大事な事は、「きちんと教える事」です。  
例えば、挨拶の基本は、①立ち止まって、②相手の顔を見て、③大きな声で挨拶する ことです。  
人の話を聞く時は、話している人の顔を見て聞くように。 指導の中で生徒達に話をする機会が多いと思います。その時に、生徒達が下を向いたり、他を見ていたりしたら、この注意をしていただきたい。
3. 安全については最優先で対応していただきたい。ベースは生徒達一人ひとりの様子を気を配り、見ていただきたい。 学年毎の指導においては、リーダーが練習内容に専心していれば、安全対策委員（休んでいる場合は、その日のリーダー以外の人が担当）が生徒達の様子を見ていただきたい。この意図から学年毎の指導者は最低でも2人以上でなければなりません。
4. 指導内容や指導方法については、まずは学年毎に指導者同士で話し合いの機会を多く持って、1年を通した指導計画の下で、指導の成果確認を随時行いながら、指導活動をPDCA (Plan, Do, Check, Action) が回るように意識していただきたい。  
そして、指導者委員会にて各学年の情報交換を行い、堺ラグビースクールとしての指導方法のノウハウを残していきたい。  
10月に予定の秋合宿に向けては、指導計画を指導者同士で話し合ってください。
5. 今年には特に「フェアプレイの精神を浸透させていきたい」  
フェアプレイの精神とは、堂々と天地に恥じない態度・行動を取ること。  
この事を、常日頃から指導者自ら実践して、生徒達に指導していただきたい。

他にも、堺ラグビースクールの指導者として、みんなで共通認識すべき事を指導委員会で話し合っていきたいので、ご意見をお願いします。

以上

お願い事項：各学年単位で、本日参加されていない指導員の方々にもこの内容を、再度お伝えいただきたく、お願いします。